

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 268

事務事業名	放課後児童クラブ育成事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども政策課		
課長名	田下 陽一	内線	170
担当者名	田家 真史	内線	170

基本目標		人を育むまち
政策	010104	子育てしやすいまちづくり
施策		子育てと仕事の両立
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	2	児童福祉費	
目	1	児童福祉総務費	
事業コード	020103	放課後児童クラブ育成事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画	おおむら子ども・子育て支援プラン	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	放課後家庭に養育できるものがない小学校の児童		
意図 対象をどのような状態にしたいか	放課後児童クラブの運営支援により、放課後に家庭で養育できるものがない児童の健全な育成を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	父母の会が運営する放課後児童クラブに対しては、運営を委託し、社会福祉法人及び特定非営利活動法人に対しては、保育内容に応じて運営に係る経費の一部を助成する。また、母子家庭等の経済的負担を軽減するため保育料の一部を助成する。		
事業期間	平成 10 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市すくすく保育支援事業補助金交付要綱、大村市放課後対策事業委託要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	有	民間の施設を借り上げた場合の家賃に対する助成	

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 父母の会が運営する児童クラブ数	計画値	15	15	15	16	
		実績値	15	15	15		
	市が運営を委託するクラブ	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 社会福祉法人等が運営する児童クラブ数	計画値	13	15	16	19		
	実績値	13	15	16			
	運営費補助の対象クラブ	達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標	① 放課後クラブを利用する児童数	計画値	1,342	1,334	1,441	1,561	
		実績値	1,276	1,378	1,455		
	登録児童数	達成度	95.1%	103.3%	101.0%		
	② 保育料の減免を受ける児童数	計画値	240	263	278	276	
		実績値	260	271	265		
	母子家庭及び生活保護世帯等	達成度	108.3%	103.0%	95.3%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	168,583	194,150	250,171	254,922	315,668	315,668	315,668	0
国庫支出金		8,840	75,337	78,565	98,607	98,607	98,607	
県支出金	107,812	123,691	81,973	86,696	106,567	106,567	106,567	
地方債								
その他								
一般財源	60,771	61,619	92,861	89,661	110,494	110,494	110,494	
② 人件費(千円)	2,186	2,085	4,443	3,127	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.26	0.26	0.63	0.43				
時間外勤務(時間)	60	60	0	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	170,769	196,235	254,614	258,049				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	放課後児童クラブが未設置であった三浦地区に施設を整備し、放課後における保育の場を整備した。また、負担となっていた家賃の補助を行うことにより、支援員等の処遇の改善に努めることができた。
事業が抱える問題・課題等	近年の入所児童数の増加により、放課後児童クラブを新たに設置する必要があるおそれのある校区に対し、施設を設置する。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	共働き家庭の増加に伴い、放課後児童クラブへのニーズは高まり、登録児童数も年々増加するなど、放課後児童クラブの果たす社会的役割は大きい。						
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
おおむら子ども・子育て支援プランにおいて、放課後児童クラブの保育の質の向上や保育環境の整備を計画的に進めるため、放課後児童クラブを積極的に支援することとしている。							
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	放課後児童クラブを利用する児童数は年々増加しており、共働き家庭を中心に放課後における児童の安全な保育環境の整備に大きな効果がある。						
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
適切な保護・指導のもとで安全な放課後保育を実施することにより、放課後に養育をするものがない家庭の仕事と生活、子育ての調和が図られるなど、児童福祉の充実に大きな効果がある。							
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	国・県の補助金基準に基づいて定めており、削減の余地はない。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
国・県の事業実施要綱に基づき市の負担割合は決定されており、見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	近年の入所児童数の増加により、放課後児童クラブを新たに設置する必要があるおそれのある校区に対し、施設を設置し放課後における保育の場を整備する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	特定の期間のみ保育を必要としている働く世帯の保育の場を確保することができ、児童の安全な生活の場が提供され、保育の質の向上や保育環境が確保される。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。